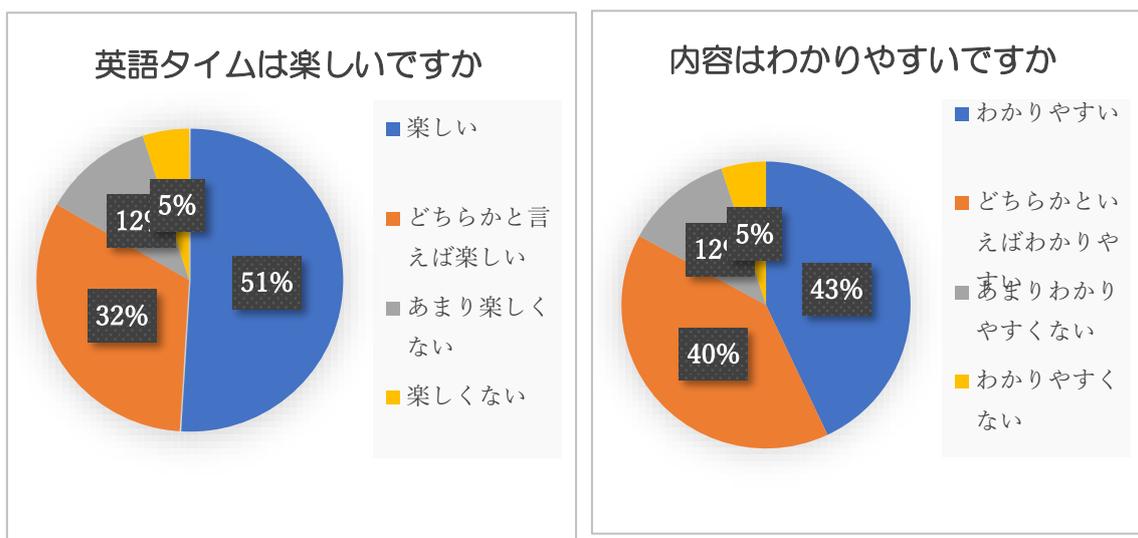


## 英語活動実施状況（R6）

### 1 自己評価結果

令和5年度英語活動を行った1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、①「英語活動は楽しいですか」という質問に対し、「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と回答した児童は全体の85%でした。また、②「内容はわかりやすいですか」という質問に対して、「分かりやすい」「どちらかといえば分かりやすい」と回答した児童は83%でした。この結果から、多くの児童が英語活動に楽しく取り組み、内容をおおよそ理解できていると考えられます。ALTの授業でも、英語を聞き取りながら英語で楽しそうに応答する児童の姿が見られます。授業公開では、英語活動に楽しく取り組む児童の様子を保護者の方に参観いただきました。

一方、アンケートで「楽しくない」「分からない」と答えている児童も5%います。まずは楽しいと思えるようにリズムに乗って話したり動作したりして楽しさを味わえるように支援していきたいと思えます。



### 2 まとめ

朝は教室からは英語活動に取り組む児童の元気な声が響きます。リズムに乗ったり声を合わせたりして響く元気な声は、学校を活気づけています。楽しく英語活動に取り組むことにより、子供たちが英語に慣れ親しむことができます。そのため、高学年の外国語科の授業では英語に対する抵抗感がなく、ALTの英語による指示を聞き取って活動したり、英語で躊躇することなく会話したりできています。外国語学習の入口として、現在行っている外国語活動は、外国語への抵抗感をなくし楽しいものであるという感覚を子供たちに与えています。外国語を身に付け、グローバル社会で活躍するための入口として、外国語活動は価値のあるものだ実感しています。